

CEA				2141000	
				担当部署	
CEA				生化	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項			特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→			
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報			特記事項なし		
検査受付時間			8 : 15～16 : 00		
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項			特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング			特記事項なし		
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	他材料	10 青	分離剤	8	mL
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件			室温		
検体受入不可基準			1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体		
保管検体の保存期間			冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		5.0 ng/mL 以下 エクルーシス試薬 CEA II 試薬添付文書				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	ng/mL
共通低値		共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
0		5	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値		高値	設定なし			
		低値	設定なし			
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		癌胎児性抗原(CEA)は、1965 年に Gold らにより結腸癌と胎児結腸粘膜組織に共通して存在する抗原物質として発見された糖蛋白であり、今日もっともよく用いられている腫瘍マーカーの一つである。 大腸癌をはじめとする消化器癌、膀胱癌、肺癌などのさまざまな臓器由来の癌に幅広く出現するため、その診断補助および術後・治療後の経過観察の指標として有用性が認められている。 また、大腸癌や胃癌における術前 CEA 高値例では有意に再発率が高いとされ、予後の予測にも有用とされる。 三菱化学メディエンス 検査項目解説改訂第 4 版 318,2008				